

対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大野陽介			実務 経験	有	職種	舞台装置、舞台美術				
授業概要											
コンサートに関する知識を学び、単なる技術者としてだけでなく業界をリードする人材としての知識、能力も身につけます。											
到達目標											
この科目では、学生が舞台の基礎となる、劇場の機構、舞台用語、稽古から公演に至る道程、基本的な大道具（舞台美術）等、働き始める為の学び。実際には、コンサートや舞台の現場に出た際に、事故などに合わず、スムーズに仕事に付ける知識をつけることを目標とする。											
授業方法											
この授業では、プロジェクター投影にて行うテキスト解説を軸に、必要に応じ実際に経験したノウハウを取り入れつつ行う。加えて生徒からの質問等を多く取り入れる事でコミュニケーション能力の向上、広い視野を持って様々な事に興味を持つ意識付け、働きだす上で必要な知識を得られる様にする。											
成績評価方法											
＊試験と課題を総合的に評価する。＊積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。＊授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する											
履修上の注意											
この授業では、挨拶・コミュニケーションを重要視し、受け答えがしっかりと出来るように注意する。携帯の使用などに対しては厳しく注意し、場に貢献する意識を醸成させる。											
教科書教材											
プロジェクター投影にて行い、授業後にClassroomにてデータ資料を共有する。必要に応じ紙資料の配布。											
回数	授業計画										
第1回	舞台で仕事する上での基本：挨拶等含め、仕事始める前の基本を理解する。										
第2回	劇場の基本的知識 1：劇場の基本的機構の理解する。										
第3回	劇場の基本的知識 2：現場においての、劇場の使い方の基本を学ぶ										

コンサート概論1

第4回	舞台づくりを支えるスタッフに関して：どのようなスタッフと仕事していくか。舞台監督、舞台進行について。
第5回	劇場入りまでの仕事1：劇場の基本的機構の理解する。
第6回	劇場の基本的知識2：現場においての、劇場の使い方の基本を学ぶ
第7回	劇場入りから搬出までの仕事1：搬入から仕込み、舞台稽古の仕事
第8回	劇場入りから搬出までの仕事2：本番までの舞台監督の仕事、本番中の仕事、終演後の仕事、バラシと搬出
第9回	舞台を作る1：作業のための基本事項、床を決める、幕をつける。
第10回	舞台を作る2：高さ作る、吊る、立てる。
第11回	舞台の仕掛けと表現のための工夫1：舞台転換、舞台機構を使う転換、引柱転現
第12回	舞台の仕掛けと表現のための工夫2：落とす。飛ばす。消す。煙を使う、歌舞伎の仕掛け
第13回	こんな時どうするか、知っておくと便利：印を作る、専用の物差し作る。譜面台を使う、トランシーバーを上手に使う等、その他。
第14回	演劇の歴史：ギリシャ演劇、シェークスピア、歌舞伎
第15回	まとめ：全体のまとめ